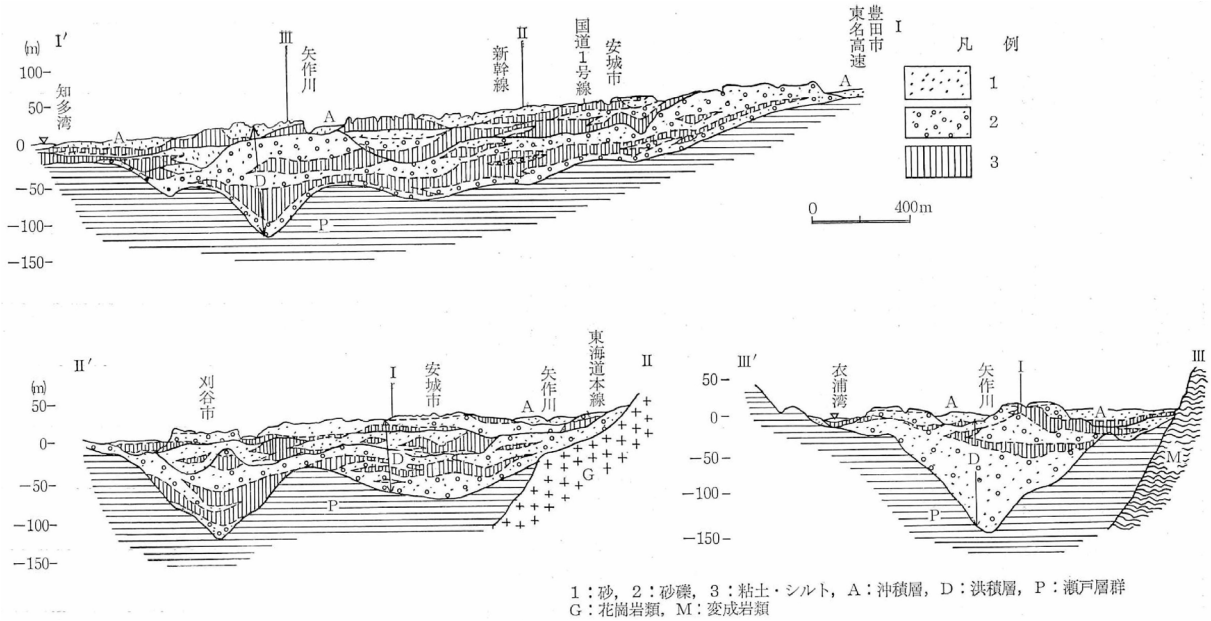
3.岡崎平野

地形・地質

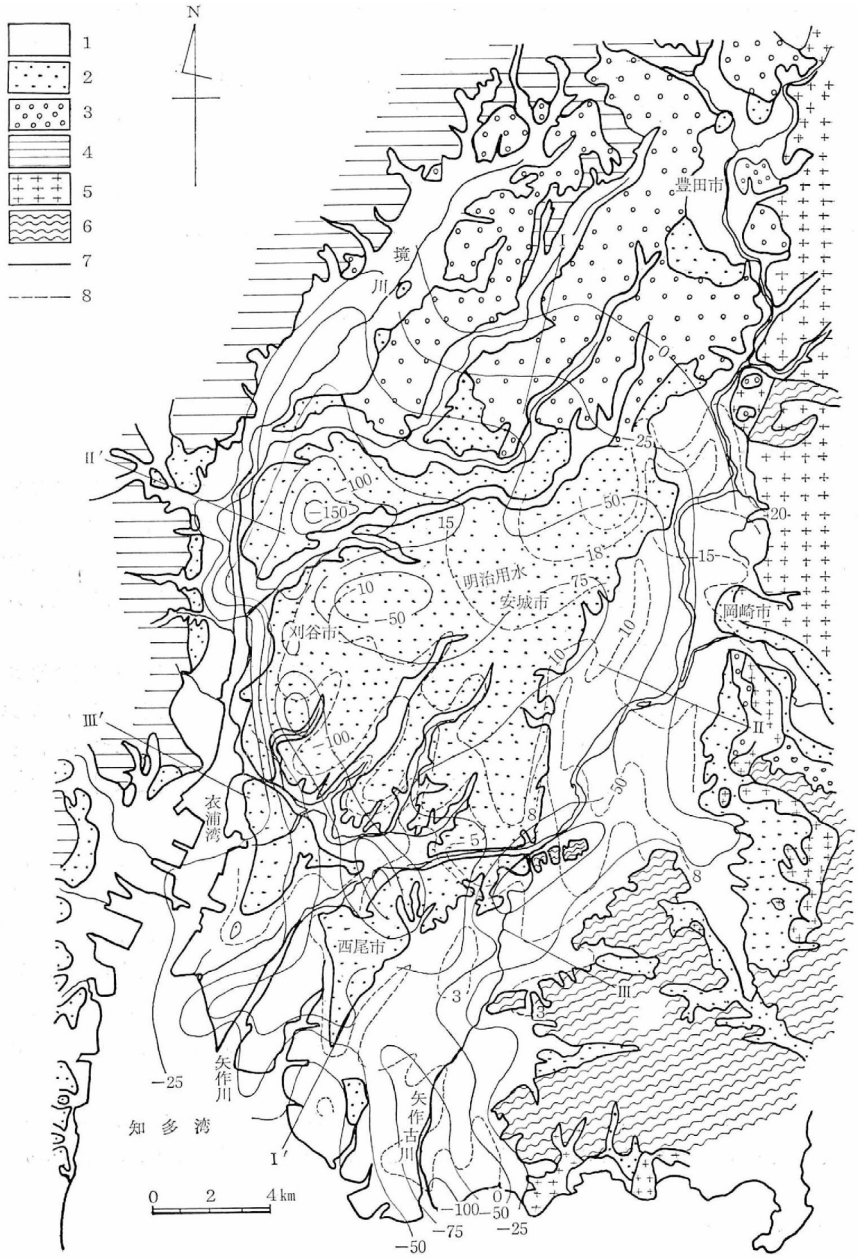
岡崎平野は，東側を領家帯の花崗岩類や変成岩類からなる山地に境され，西側を鮮新世の瀬戸層群からなる丘陵地に囲まれています。岡崎平野は広大な台地と，矢作川や境川など河川沿いの谷底低地，臨海部の干拓地からなります。



岡崎平野の模式断面図

地下水

本地域の帯水層は，鮮新世瀬戸層群(主に矢田川累層)，洪積層および沖積層です。特に，洪積層は被圧あるいは不圧地下水の帯水層として，きわめて良好です。



1：沖積層　2：中位段丘堆積物　3：高位段丘堆積物　4：瀬戸層群　5：花崗岩類
6：変成岩類　7：洪積層基底等高線　8：地下水位等高線(1967．10 測定)

岡崎平野の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）